

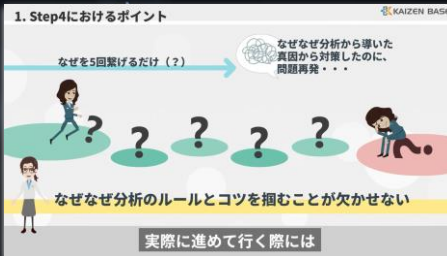
カイゼンベース学習コース紹介

アニメで学ぶトヨタ生産方式 中級編

問題解決 8 ステップ Part2

本学習コースの狙い

Part2では、Step4からStep8の学習を行います。
「なぜなぜ分析」の正しい運用方法、スケジュール策定の重要性、標準化・横展開の効果などについて順を追って内容を確認し、本コースで問題解決法の確実な理解を目指しましょう！



受講対象者： 全部門（係長／次長・課長）

eラーニング学習画面 イメージ



カリキュラム

☑ 動画再生時間：約1時間2分 ☑ 想定学習時間：約2時間4分

教材の構成：動画コンテンツ5ヶ，理解度確認テスト各章5問，総合テスト全20問

① Step4 真因の特定（なぜなぜ分析）

1. Step4におけるポイント

なぜを5回繰り返す。真因を特定し、再発防止策を打つ！

問題(事象) → なぜ1 → なぜ2 → なぜ3 → なぜ4 → なぜ5 → 真因

※ 繋がってきん原因を特定し、5回で終われば「なぜ」をやめる

安易な対策とならないために、思考プロセスを可視化し、関係者と関係者と

14:16

② Step5 対策案検討とスケジュール策定

3. スケジュール策定のコツ

遅れないスケジュールを作るために

障害が発生する可能性があるものを先取りする

リードタイムが分かることを明確にする

合意形成が必要なことを明確にする

行き当たりばったりではなく、先を予測し関係者を巻き込むことを想定して計画し

13:14

計画するようにしましょう！

③ Step6 対策の実行

2. 成果を出すためのチーム活動の基本 馴れ合いと温厚しない

チームワークを馴れ合いと温厚する

チーム活動中においても必要以上に近い距離感で接する
チーム外での交友関係をチーム内に持ち込んでしまおうと、メンバー間の対等な関係を保てない

馴れ合いの関係は、作業や議論の質を落としチームの様々なメリットを奪ってしまう！

覚えておきましょう

11:59

④ Step7 効果の確認と評価

2. 効果を確認するコツ

① グラフを使い順系列で推移を確認する
・初期の数値に対して、どのように変化しているか

※ 視覚的に一目で変化が分かるようなグラフを作ろう！

数字の羅列を眺めていても正しい評価にはならない！

まずはこのグラフ

12:53

視覚的に

⑤ Step8 標準化と横展開

2. 定量的・具体的とは

数値化しやすい定量的な目標

Quality (品質)
Cost (コスト)
Delivery (納期) etc.

数値化が難しい定量的な目標

Safety (安全)
Morale (士気)
Environment (環境)
Customer Satisfaction (顧客満足度) etc.

定性的な目標の数値化の例

部下の士気（モチベーション）の向上

月に1件以上提案を出し、部下の人数を10%削減する

9:39

どう変化するはずなの？

※ 理解度確認テストは各章毎に設定されており、最後の総合テストでは全動画の中からランダムに出題されます。



カイゼンベース株式会社

お問い合わせ：info@kaizen-base.com

お申し込みはWEBサイトから！
<https://kaizen-base.com/e-learning/>

